

学校図書館だより



平成29年4月24日
横浜市立森の台小学校
校長 酒井 浩明
図書主任 清水あゆみ
学校司書 近江弥穂子

No. 1

新年度が始まりました。始業式の次の日から、早速多くの子どもたちが学校図書館へ足を運んでいました。委員会活動がスタートし、図書委員の子どもたちは、早く仕事に慣れて、みんなに学校図書館を好きになってもらおうと、張り切って活動しています。今年度もボランティアの方々にも協力していただきながら、充実した学校図書館にしていきたいと思っています。

4月23日は「子ども読書の日」です。また、横浜市では毎月23日を「市民読書の日」と設定し、市民の読書活動を推進しています。森の台小学校でも、子ども達が読書に親しめるように取り組んでいきたいと思っています。ご家庭でも、本についてお子さんと話したり、一緒に本を読んだりしてみたいはいかがでしょうか。

学校図書館からのお知らせ

- 本を借りられるのは、1人1冊、1週間です。返す日を守りましょう。
- 4月は全学年全クラス、図書館オリエンテーションです。図書館のマナーやルールを確認し、本の並び方など学校図書館のことを知りましょう。

先生のおすすめ本

谷石副校長先生

池田先生 (2-5)

植木先生 (6-4)

武井先生 (栄養士)

「ふたりはともだち」「はじめてのおつかい」「手紙」「半分のふるさと」

アーノルド・ローベル 作
学校図書館に
あります

筒井頼子 作
学校図書館に
あります

東野圭吾 著

イ サンクム作

知っている人も多いでしょう。がまくんとかえるくんの物語です。大人になってから読んでも二人のやりとりは微笑ましい気持ちにさせてくれます。

緊張したり、不安になったり、そのドキドキ感をのりこえて大きくくなあれ！！

好きな本の1冊です。弟を大学に入れてやりたいという一心から盗みに入った屋敷で、兄は思いもかけず人を殺めてしまう。懲役15年。弟の元に獄中の兄から月に一度手紙が届くが…犯罪加害者家族に焦点をあてた本です。

日本で生まれ育った朝鮮人の著者。広島で生まれて戦争を経験した彼に、母は「民族の誇りをもって生きよ」と教える。朝鮮人というだけでツバを吐きかけられた子ども時代が綴られています

トピックス ～坂上田村麻呂（さかのうえのたむらまろ）～

今年度は、トピックスで征夷大將軍を紹介していきます。

征夷大將軍はもともと、朝廷が蝦夷（東北に住んでいた先住民）を征討する際の最高司令官の役職でした。奈良末期に大伴弟麻呂（おおとものおとまろ）が初めて征夷大將軍に任命されましたが、その後、二人目の征夷大將軍に就任したのが、かの有名な坂上田村麻呂（さかのうえのたむらまろ）です。坂上氏は4世紀後半に百済から渡来した阿知使主（あちのおみ）を祖とする渡来系の氏族である東漢氏（やまとのあやし）の一族で、その後、武門の氏族として発展していきました。朝廷と蝦夷との戦いは、8世紀後半に蝦夷の勇将：阿豆流為（あてるい）があらわれると、その活躍により朝廷軍は劣勢に立たされます。これを挽回したのが田村麻呂です。彼は797年に桓武天皇により征夷大將軍に任じられ蝦夷との戦いに赴くと、見事、阿豆流為を降伏させ勝利をおさめます。田村麻呂は単に武勇にのみ優れているわけではなく、例えば降伏した蝦夷のとりあつかいに誠意をもってあたったり、蝦夷の身分的差別解消にも尽力したことが知られています。こうした人格者の一面により、偉大な將軍として後世、神格化されることとなります。戦いの手柄により805年には参議となり、翌年には中納言、810年には大納言に昇進します。その翌年、なくなりますが、葬儀の際、天皇より「棺桶に甲冑や武具一式を入れ、死後も平安京を守護せよ」という命令を受けて埋葬されたということです。京都の有名な清水寺は、田村麻呂が創建したと伝えられています。

今月のおすすめの本

「怪物の本」

ルース・M・

サンダース編著

「なぜなぜベスト図鑑」

どうぶつ・1

とり1

「へなちょこ」

くすのき

しげのり作

やさしい心をもった怪物や、あらっばい怪物、食べて食べて食べまくりとうとうおなかを破裂させてしまうようなおろかな怪物、いろいろな怪物のお話を集めた本です。このシリーズは他にも、「悪魔の本」、「魔法使いの本」、「王と女王の本」、「王子と王女の本」などがあります。

らくだはなぜこぶがあるの？へびはどうやって歩くの？おさるのおしりはなぜ赤いの？犬はなぜしっぽをふるの？身近な「なぜ？」「どうして？」にQ&Aでわかりやすく答えらる図鑑です。

泳ぐのも走るのも早いともちゃん、運動は得意なのになわとびだけは苦手。でもつい、あいちゃんに「こうさとびも、にじゅうとびもできる」と言ってしまう。このままだとあいちゃんにもみんなにも「へなちょこ」って悪われてしまう？！と思ったともちゃんは…

編集後記

今年度も森の台小学校に勤務させて頂くことになりました。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

4月6日の今年度図書館初日には、「いつから借りられるの！」と言いながら沢山の人々が図書館に来てくれました。図書館の進級処理を無事終えて、4月12日からは本の貸し出しと、全クラスオリエンテーションが始まりました。やる気に満ちあふれた新しい図書委員の面々は、互いに協力し合いながら、どんどん仕事を覚えて頑張ってくれています。全クラスオリエンテーションも、児童の皆さんが学校図書館を上手に使えるよう、図書館のマナーの確認や、本の並び方、図鑑、百科事典、年鑑などの使い方、出典の書き方を学年に合わせてクイズなどをしながら行っています。どの学年も目次や索引を駆使しながら調べるのがとても上手になっていてうれしく思いました。児童の皆さんに、「本をもっと読みたいな」、「調べるのって楽しいな」と感じてもらえるよう、今年も頑張っていきたいと思ひます。

学校司書 近江